

当院で肺の重粒子線治療をお受けになった皆様へ

放射線医学総合研究所では、転移性肺腫瘍に対して重粒子線治療を行った患者さんの治療成績を調査することとしました。転移性肺腫瘍とは原発性肺癌とは異なり、大腸癌や乳癌など他の臓器に発生したがんが肺に転移したものです。手術や放射線治療による成績は報告されていますが、重粒子線治療による報告は放医研から2編が報告されているだけです。このため、日本の他の重粒子線治療施設も合わせた多施設共同で過去の記録をまとめることにしました。

この研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

[研究課題名] 転移性肺腫瘍に対する重粒子線治療の多施設共同後ろ向き観察研究（実施期間：2017年7月19日～2019年3月31日）

[研究機関] 量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所 臨床研究クラスター重粒子線治療研究部

[研究責任者] 山本 直敬

[協力/共同研究機関] 兵庫県粒子線治療研究センター、群馬大学重粒子線医学研究センター、九州国際重粒子線がん治療センター（これら外部機関に個人を識別できる情報が伝わることはありません。）

[研究の目的] これまでの重粒子線治療による転移性肺腫瘍症例の成績は放医研単施設報告のみであり、施設横断的なデータはない。そこで多施設共同後ろ向き観察研究を行い、施設横断的に症例の背景と治療成績を確認する。さらに、外科手術や定位放射線治療などの既存治療の成績との比較検討を行い重粒子線治療が有益となりうる対象を明らかにすることを目的とする。

[研究の方法・データの使用方法]

●対象となる方々

2003年11月1日～2015年12月31日に重粒子線治療を受けた方

●利用する情報及び利用方法

2017年3月31日までに得られたデータを、情報取扱いの安全管理された電子システムにより集計しますので、新たな質問や検査はありません。

[個人情報の取り扱い] 研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際には患者さんを識別出来るような個人情報は利用しません。（国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所個人情報保護規程に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。）

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方（又は代理人の方）は、2017年10月31日までに下記窓口にお申し出くださるようお願い致します。この期間を過ぎると個人識別できない情報は取り除けなくなることがあります」等必要に応じて記載。ご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。

[問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所 病院

電話：043-206-3306（平日8：30～17：00） 担当 山本直敬

